

平成 21 年 4 月 15 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18520257

研究課題名（和文） チュニジアの文学状況

研究課題名（英文） Literary Situation in Tunisia

研究代表者

青柳 悦子（AOYAGI ETSUKO）

筑波大学・大学院人文社会科学部研究科・教授

研究者番号：70195171

研究分野：文学

科研費の分科・細目：文学 ・ 各国文学・文学論

キーワード：フランス語圏文学、マグレブ文学、チュニジア、多言語状況、世界文学

## 1. 研究計画の概要

1956 年にフランスから独立したチュニジアは、アラビア語とフランス語の二言語併用国家であり、文化的にも社会・経済的にもアラブ世界とヨーロッパ世界の両方に属すると言ってよい。こうした多言語併用の多文化地域の文学活動についてはこれまで研究がきわめて薄弱であった。旧フランス植民地としてもフランスにとっての重要度がアルジェリアなどに比べると低いチュニジアは、とくに文学研究の対象となりにくかった。この研究では、ヨーロッパへの移民作家よりも、むしろ現地で活動する作家とその作品に重点をおき、チュニジアにおける歴史的な文学状況の変遷、言語状況の変化、出版状況などを検討する。これによって、旧来の文化的な大国家を標準として考える文学の捉え方を改めるための契機とする。

## 2. 研究の進捗状況

チュニジア人自身が「チュニジア文学」というものをあまり意識していないために、研究・教育活動が現地人によっては積極的になされているといいがたい。そのため、手探りで情報を発掘しながら研究をおこなっているため、迅速・スムーズに研究が進展しているとは言い難いが、逆に言えば、これまで報告・整理されていない新たな情報をこれまでの 3 年間で蓄積することができた。これまでの成果は以下のとおりである。

(1) 1997 年から 2008 年までの 10 年強の小説出版の状況の詳細な把握  
チュニジア国内および国外で、チュニジア人の出版したすべての新刊小説についてその

タイトルと内容についての情報を収集した。

(2) チュニジアでの書籍販売の状況、主要大学の蔵書状況、大学の書籍検索システムの現状について把握した。

(3) チュニジア最大の小説賞であるコマル・ドールについて主催者から情報収集するとともに授賞式に参加し、チュニジア人と文学の接し方にちて状況把握した。

(4) チュニジアの代表的な女性作家エムナ・ベルハジ・ヤヒヤに 4 回にわたるインタビューをおこない、チュニジアでの作家の置かれた状況、彼女自身の問題意識などを聞き出した。

(5) 年に一度チュニジアで開かれる「日本=チュニジア科学・社会・技術シンポジウム」に複数回参加するとともに、現地の他の学会・研究会にも参加し、チュニジアの文学研究者と交流するとともに、彼らの問題意識、研究動向を把握した。

(6) チュニジア国内状況を視察し、首都と地方のそれぞれの特性、国全体の社会・経済状況を把握し、文学生産の背景を把握するとともに、既存の文学作品と関係する事実を検証した。

## 3. 現在までの達成度

③やや遅れている

(理由)

関連学会が存在しないので、学術発表の機会がどうしても少なくなってしまう。したがって成果としてはめざましいものをすでに出したとは言えず、目に見える達成度は高くない。しかし来年度の最終年度に向けて多くの情報の蓄積ができたので、研究期間全体で

研究目標を達成するための堅実な準備をおこなうことはできている。

#### 4. 今後の研究の推進方策

来年度が最終年度である。  
チュニジア文学史の総括、その背景となる社会状況のまとめ、近年の文学創作についての具体的な情報整理、すぐれた代表的な作品の紹介と分析を来年度におこなう。

#### 5. 代表的な研究成果

〔雑誌論文〕(計 2件)

1) Etsuko AOYAGI, « Sujet post-moderne dans *les Mille et une nuits*, à la lumière de la vision islamique du monde », *Proceedings of the 8th Edition Tunisia-Japan Symposium on Society, Sciences and Technology TJASSST2007: El Kantaoui Forum, Sousse (Tunisia)*, 査読なし, March 2008, pp.31-33

2) 青柳悦子「人間の空間としてのサハラ沙漠」(筑波大学学内プロジェクト「北アフリカ地域の科学技術と文化に関する融合的研究」成果報告書『北アフリカ学へ向けて』)、査読なし、29-43頁、2007年3月

〔学会発表〕(計 3件)

1) « Sujet post-moderne dans les *Mille et une nuits*, à la lumière de la vision islamique du monde », Kantaoui Forum-TJASSST2007(Tunisia-Japan Symposium on Society, Science & Technology), 29 October 2007, at Sousse (Tunisia).

2) 「チュニジア文学の現在」、平成18年度第5回 ARENA 定期セミナー(筑波大学北アフリカ研究センター)、2007年1月11日、於：筑波大学。

3) « Identité relationnelle dans les discours littéraires : au-delà de la norme « européenne » », Tunisia-Japan Symposium on Society, Science & Technology (7th Edition), 4 December 2006, at University of Sousse (Tunisia).